



13  
2942  
3







両個女児郭花笠初編卷之下

江戸

第五回

壮雄の危難

松亭金水編次

かそその夜も二更のころ。狗も思按もあはあまる。身みの  
 災難さいなんふかき。とどろかへる。とどろやの門かど引あけて。総あのま保  
 平次へいぢそまところより妻つまやこが。例れいのどろく出いわらひ。  
 大おほぶんぶん進しんいあゆみで。さぞやと仲なつもあささ。今いま青あおの  
 風かぜのあゆみ。多おほさし由よし一いちたの。アを争あう。巨こほろ糖とう人にんあは托たくげせト

2942  
3

昭和九年七月九日  
燐水



深切見する妻や児が。負をえるさへいぢらふま。平次は  
さうに回着ゆるく。大床の側へどろどろと坐す。あ腕組で  
肩小敲めのおのひげふる。商人の負。あむらゝ。例へま  
よろて。今宵は何うおゑ分でも。お熱いうぞんとせ  
んぞ。例ふるいお負つき。りか放で何ぞま。不慮る  
みでもございし。う。どろもお案トヤまん。役小もまぬ  
女小更へいつて詮のる。い。思。め。でもございませう  
が。伏をさう。縁バ。高。く。苦勞。お。ま。せ。る。ま。ま。て。ん。じ。

さうませト。商人。やうをを。按。ト。妻。平次。の。太。き。息  
を。吻。き。先。刺。意。の。お。る。よ。つ。き。儲。へ。出。仕。し。て。お。あ。と。が  
願。う。は。用。金。百。両。の。給。失。そ。ま。つ。ふ。付。て。重。役。元。の。先  
あ。い。い。不。慮。の。苦。難。氣。の。ど。く。み。方。ま。れ。ど。も。さ。う。も  
その。ゆ。え。お。あ。つ。き。金。子。の。子。罪。ハ。その。身。ふ。か。さ。と。い  
ひ。の。去。る。が。う。あ。く。よ。酒。を。い。つ。て。元。の。高。小。お。い。し  
る。バ。お。と。つ。い。ま。づ。内。分。で。さ。う。あ。う。が。然。も。ま。け。ま。ば。け  
る。を。お。あ。げ。て。下。お。と。う。け。斗。ら。ぶ。が。此。方。の。役。目。い。ま。く



きんす  
金ふのゆた方があねとあまふ。お形没収。但し、追  
放せらる。その裡も斗りぐ。平生、子孫の篤実。まん  
か上でもよ。おなド。石使と。や。た。でもあらうが。おれの後  
い。佳方。い。等。と。幼。あ。い。ま。れ。よ。と。武。士。の。情。よ。重。ん。だ。ん。が。  
計らひの。ぐ。ん。い。辱。ま。け。と。ど。ぞ。ん。ド。も。よ。う。ね。金。ふ。百。あ。う。多。く  
あ。ま。が。カ。で。い。上。ま。を。背。ぶ。き。や。も。ふ。い。と。れ。で。み。け。れ。が。あ。ら。う。  
お。形。没。収。と。い。ふ。あ。う。う。う。と。同。僚。ど。り。お。後。ま。れ。ど。  
何。を。い。ふ。お。金。の。り。ま。ご。沈。吟。も。つ。ね。い。ヤ。イ。ト。ま。ら。て

むら  
お色も二人の女見も。おれ、ろかくてうち。おら。そ。と。り。と  
お。か。り。詞。も。る。く。僕。よ。ま。あ。う。と。女。家。の。死。聖。介。よ。偃。ふ。ま。え  
お。ら。く。る。り。か。る。処。へ。門。の。戸。た。き。り。り。来。る。神。原。佐。六。七。い  
平。次。が。お。く。生。と。ま。あ。て。母。方。く。け。い。び。の。一。美。何。と。や。さ。う  
何。も。ご。う。う。ね。拙。者。中。久。し。い。由。同。僚。あ。と。よ。い。遠。回。不。出  
る。る。お。美。お。希。め。と。婚。妻。お。み。あ。と。内。お。後。も。い。つ。と。申  
ま。ご。婚。姻。を。お。整。へ。す。と。も。お。親。と。お。親。と。が。齒。を。合。せ。ば。互。お  
の。が。と。ね。縁。忠。の。好。身。大。金。と。い。り。い。の。の。や。さ。ら。ば。た。め。と。よ



判百枝どより之丈もあらうと。先より認方を強めたり。  
 いろくよひしつて見えも。サテ任せぬ令派づ。公よ南と公  
 用も。齟齬する。残もあさ。定めて貴公も内中内由れと  
 のんでぐみごさうらふ。今へ出来ばと書づれて容ふてやう  
 よ。夜にふけさど。按ドラして森もされど。あつてえれ  
 ば。按よたがら。昔勞の中うまむ千方。と方モ平次どめ。  
 盗んど奴の志とてみるぞ。いざら彩紙よ反抱へらさ。こ  
 こづいす。小を返の控太といふ奴えうけかうしてあてぐま。容子

もあいの奴であつた。昨夜より行方なれど。今日控太が  
 ちつけて。小人どり成四方へまらせ。控太が控方をさづね  
 ことごと。一向は陰もなれど。案すうふこの盗賊へ。遠奴が  
 所あり。疑いある。さうらる。控太の腕に不動の彫あり  
 ね。尋ねる。その屋敷のふかき。昨日早く。手やく  
 へ。あけて宿く村。控太が人相彫あり。委く徳あり  
 觸る。急地ふ反捕へ。然すと。公の罪への  
 こと。いま何れの時。おき。身を大切にして



是ト実をえする依止七ヶ洞小平次も妻のかむらも。  
との小洞の妻あぐれ辱しと挨拶し。此人のおけら  
ひ偏し特に入りますると。つづき兵政佐七ヶ。およぶけり  
宵をたか。かろくまきまきく。おのむみと力をつけてはゆる。  
そとより平次は巻屏の身の人昨日まで二両個の女  
児が。琴のさうひや。三法の誓ちよ宅も娘ひいて。急ふ  
が癖の娘の児あまふ砂の言でうしも。おてからりー  
今日の目や。両戸もあけを落るるき。火鉢の側又親と

児が。集會く互はるゆと息。吻より介は思按もなり。  
あておむら別間小り。日頃恙する。縁地ぬ来。良人が  
危難を救りせんと。念仏とあて居たりし。おむ代を  
そつと深く居り。母が杖をそと引て。お看經のかたが  
あぐら。ちよんとおぬーや。あぐら。あぐら。あぐら。あぐら。  
母の此方を向き。おむら。とりよの物の用や。ハイおの  
るでもおむらませんが。お希さるの由。又難。又よのさ  
おあふ。おむら。おむら。おむら。おむら。おむら。おむら。









赤心あかこころ  
見入みいれ  
處女ぢよむすめ  
苦界くるがい  
沈むしずむ

赤心見入

六



ろり〜と月日の根柢しき。せめて〜の恩報ト  
 どもぞ私わたくしが身を活うごけて令おのづか相あ憐れみあることも偶たまく  
 お爺おやさまをが勤まめりまされて下くださりませト女むすめ身みの結むす  
 恩おんを被おぼゆる時ときは此こゝとたるとぞひびくる形かたちの一いち母ははの  
 おわりの篤あつくとぞ。公こうのうちよひ又また希まれが有あ精せいさあれ  
 ひも却かへてまよき祥さむらうと。よろこぶものうらまゐ  
 悪あくをま〜く眉まゆ然しかも。可か代しろよろの。あつと  
 日ひ弁べんさなう。お咄おど〜あつとあつとあつと。四よ葉はのとまふ

拾ひろひあげ。こ〜が生なて見みてのちまけと。今いまとるつて  
 真ま身みも回まわる。よい見みを持もつと人ひとさゝの。涙なみだのふる  
 福ふくあつて。こ〜身を活うごけても。親おやの災わざ難がた救すくつと孝うやまつ  
 初はつめの。親おやでる〜見みて〜。誰たれが身を活うごけてといふ  
 ぞ。愛あい明あきらめめのや孝うやまつ娘むすめそれぞと。年とし月つきそぞと  
 あげ〜田うら斐ひもあま。あ〜娼ぢやう妓ぎと〜の。いふい  
 まの苦くる〜こと。おの本ほんふも出てある。可か巻まきのめめのや不ふ夜や  
 やトあふ代しろが脊せ中ちゆう杖じやう撥はくさす。声こゑをまのびて泪なみだを拭ぬぐへ



おちよも洞をか抜ひいへんとどよめる昔も。四葉のとき  
 小死ね雨を估けて豊うこの難い。私づめののでい  
 るい。そうしてえねが今らで命を捐てもお舎さへ個ふ  
 みるうかまね積り。チチどうぞ其ゆをばよ大や。おね  
 漬。おきあるのてして下さるませトのよお出るることを  
 ちるひ「あつてのきり。稀さな。むう。性根の堅い。性  
 不恰まよせんこころがごとく。お承承るさるるでい。い。され  
 ばとて大救る。金の洞より宛もる。今おまへの口は使も

をる日けるまう。りりそのるふ。捨ひ兜とのよをせるで  
 ありもせむ。おまもあふぬるる。おのふ小身を活け  
 せるのるうひとのよて。お承承るう。おの隔てぬ。お兜でも  
 人の口端の五月障りの。実の兜るる。おそうもせまの。何  
 と言てもあふさ。ま。お承承る。お承承る。お承承る。お承承る。  
 さまもるもら。お承承る。お承承る。お承承る。お承承る。お承承る。  
 ねど妹の。お承承る。お承承る。お承承る。お承承る。お承承る。  
 腹よれ。お承承る。お承承る。お承承る。お承承る。お承承る。



殊ト不ト貴ト子トも内トくハ極トテある大トなる牙ト。その中トなる子ト  
 がわらうませう。君トまことそのよなるるるべ私トハ活トて  
 居トるまじせんト深トくも思トひぬぐるト体ト息トを色トハ活トるく  
 うち守トりて「そとをどまてふあふる。そのこの心トは任ト  
 せうが。不ト詮トとねハ糸トさるへハ言ト言トで斗トらうて。佐トぬ七  
 さみをお特トこ中ト。政トで答トくと糸トさるへお世ト一トさるが  
 ようらうとりつよか子ト代トハ息トもかくも。そ如ト等トの所トハよる  
 志トた中ト。おちううひ下トさるませト對トつて公ト定トめても特ト

ありうへらるるるん。愛ト身トの病トは任ト久トて。活トる甲トねるた  
 身トの上トと。洞トハさるね集ト別ト離ト者ト。かるべ一ト点ト志トるね  
 平ト決トハ一ト君トの程トみり。寒トぐる狗トを叩トきげつ。後ト引トるる  
 外ト方ト一トつ。それを徒ト律トと妻トのお色トハ日ト頃ト出入トの古ト傍ト町  
 あり。久ト六トといハ漢トとハ常トあり日ト産トの入トれとる。ちう  
 男女トのまへ人トる。世ト作トまるが活ト世トるまじ集トよハあま  
 成就トす一トと。種トをさるねばまらあて。こらハの類トとあ  
 ま一ト借トる。如ト此トと計トらひらまよといあ。且ト形トなるが印ト心







申せ 十兩をさうくく。残るる金を懐中し。佐又七が方へ  
いそぎさゆく

第六回 處女の赤心

かくともいざやあつ雲の。さちあつ峰ふあつねども。せ  
間もせま死體居の。平次ハ一間ふらちこのり。さぞ驚  
とおあんど。狗子思接ゆあちつらむ。あつて一石をさち出  
つたよ。妻とおふ代々居らざれば。可い淋や母と姉ハ  
何処へ往く。さ妻人出ささる。是いあさう。例ゆんかぬ。路

るがう此せついの。お車の。無言で何処へ往くる。十三  
大か。神系さんで。ゆさ。いませう。あつと。さんをまのり  
ませう。う。い。あ。そふさると。あ。さ。い。さ。う。と。ま。は。ね。で。も  
さ。さ。と。あ。い。さ。女。と。い。い。の。い。何。う。類。う。と。狼。想。で。さ。さ。は  
そ。ま。も。た。あ。さ。さ。狗。う。あ。ち。つ。ら。ね。つ。ま。ご。綱。ゆ。後。ら。あ。ふ。  
神。系。佐。又。七。先。よ。さ。ち。妻。の。お。色。ゆ。佐。共。よ。門。は。あ。け。て。入  
来。よ。平。次。ハ。完。全。へ。こ。ね。つ。く。神。系。佐。又。七。モ。ウ。毎。日。毎。日。切  
よ。厚。さ。う。よ。さ。う。ま。ん。ま。ん。く。さ。へ。と。せ。と。ま。む。お。ね。は。佐。又。七。も

三











か目よりけ。そのうへは、本表るれど、一寸伸き、尋仲  
師と、喉への香り、その中よ。モシ、綴合、放障か出て、  
肉身、始、女児、公、佐、く、由、至、ふる、及、理、と。ア、  
年老の、の、甘、く、ま、さ、さ、り、汁、り、て、仕、ま、ひ、ま、し、く、一、伍  
一、付、を、の、か、ま、ま、ら、ば、平、夜、の、夢、で、満、面、は、油、汗、を、押、る、じ  
佐、又、七、が、方、ふ、ら、ち、む、ひ、い、い、く、の、お、と、り、汁、と、ひ、あ、の、身、み  
あ、い、て、い、つ、を、ら、り、ら、奪、り、い、ま、ま、ら、ま、く、ト、述、あ、り、り、て、此、方、を、向  
妻、を、殿、と、白、眼、つ、け、て、コ、リ、ヤ、お、色、よ、く、夢、あ、ま、と、一、合、を、て、も

武士の、武、士、を、い、ふ。と、え、い、身、み、ど、の、中、ら、る、危、急、の、形、を、  
あ、り、い、と、も、女、児、を、活、て、その、金、で、身、を、償、う、い、ふ、こ、と、  
い、ま、れ、て、侍、の、刀、が、ま、ま、ら、る。そ、の、方、も、武、士、の、妻、夫、一、の、こ、  
の、を、ま、ま、ら、る。カ、倫、か、み、代、が、公、仲、の、石、夜、と、い、ふ、由、金、  
あ、る。考、公、源、き、さ、女、児、。その、身、を、捐、て、も、お、ま、さ、る、危、急、ま、ま、  
り、い、と、い、い、の、様、い、ら、る。若、さ、い、去、る、ま、ま、ら、る。今、ら、ら、西、白、本、由、已  
ま、ま、ら、る。ま、ま、ら、る。七、の、の、体、を、ま、ま、ら、る。由、拍、が、一、本、い、真、の、歌、ま、ま、  
身、を、ま、ま、ら、る。と、い、ふ、て、も、ライ、と、活、い、せ、ま、ら、る。血、固、ま、ま、ら、る。け、ね、祝、見







の申。養理申人。沈む身。の果と。名への。せどう。せうぞ。是。吏。  
を。名へ。ば。あの。年月。育て。あげ。る。甲斐。も。あ。く。年。増。ゆ。  
ゆ。ら。ぬ。あ。ふ。代。め。よ。持。ら。ま。る。身。が。死。す。い。女。さ。う。し。て。  
牛。派。そ。あ。る。よ。か。ん。よ。め。れ。る。そ。る。の。計。ら。ひ。務。め。  
女。め。今。縁。切。こ。め。を。あ。斤。附。も。あ。る。限。り。ぬ。早。く。よ。出。  
て。矣。あ。ま。下。血。本。の。眼。小。孫。ま。ま。を。せ。ば。お。邑。の。暖。と。ひ。ま。  
ふ。し。と。お。と。も。い。ま。ぐ。よ。よ。と。後。佐。又。士。の。平。次。を。と。め。  
ハ。レ。惣。僕。氏。そ。ま。の。經。意。い。ま。る。如。下。書。り。い。な。ふ。由。

受へま。ん。が。よう。等。ア。と。市。沈。吟。あ。ま。今。夜。の。一。義。僕。り。ね。ば。  
先祖。より。連。綿。つ。る。あ。よ。か。り。る。一。大。事。サ。ア。を。ま。あ。へ。下。内。  
養。由。女。見。由。ま。ま。め。く。と。り。く。せ。の。苦。勞。を。い。ま。ま。る。い。ま。ま。貴。  
と。一。人。へ。對。し。て。後。と。り。よ。め。ら。る。い。先祖。代。々。惣。僕。の。あ。く。對。  
し。て。お。と。孝。行。と。そ。い。で。い。て。ま。る。さ。う。い。ま。内。養。が。計。ひ。も。  
ま。ん。が。う。貴。公。の。武。士。乃。を。廢。中。う。う。こ。る。の。で。い。る。し。ま。ま。こ。  
あ。ふ。代。が。を。申。を。さ。る。と。小。孫。く。ま。る。る。あ。ま。あ。ゆ。し。て。  
金。洞。入。把。め。ど。さ。る。ま。ま。元。の。女。見。と。此。の。面。の。う。き。苦。勞。

花巻

二



















